

令和5年度事業報告

我が国経済は、令和5年5月、新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、感染症対策の影響や需給バランスの歪みなど景気の自律的な循環を制約してきた要因は解消され、コロナ禍の3年間を乗り越え改善に向かっている。

30年ぶりとなる大手企業での高水準の賃上げや高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えていると捉え、政府は、デフレ脱却のための一時的な措置として国民の可処分所得を下支えするとともに、リスクリングや価格転嫁の円滑化など構造的賃上げに向けた供給力の強化を図るため、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和5年11月2日閣議決定。）を策定し、物価高対策交付金の追加、デジタル田園都市国家構想交付金によるデジタル実装や半導体等戦略分野への生産拠点整備など令和5年度補正予算に盛り込み対策を図った。

一方では、円安や原油高を背景とする物価高騰に賃金が追い付かず、厚労省の令和5年度毎月勤労統計調査では実質賃金の月平均は前年度比2.2%減となり、個人消費や設備投資は力強さを欠いた。

このような中、われわれ鳥取県経済同友会は、より良い地域づくりを目指して令和5年度活動方針に添って事業報告書のとおり各種の活動を展開してきた。また、東・中・西部地区ごとに例会・委員会活動を活発に実施し、各種提言・要望活動を行った。

令和5年度の主な取り組み事業として、第9回西日本経済同友会代表者会議が7月25日に米子市で開催された。「地域のインバウンド観光振興策」と「各地域経済同友会における人づくりの取り組み」の2つのテーマについて提起者の1人として松村顧問よりインバウンド観光客に選ばれる地域になるための方策や地域連携の在り方、人づくりの取り組みなどについて問題提起をし、討議が行われた。50回目となる島根経済同友会との合同懇談会は、11月14日に松江市で開催され、「地域公共交通の政策課題」「山陰の地域特性を踏まえた地域公共交通の在り方」の講演があり、その後講師を交えての座談会が行われた。また、30回目となる岡山経済同友会との合同懇談会は、11月20日に備前市で開催され、特別史跡旧閑谷学校講堂内で論語の唱和などの学習を行い、懇談会では7つのグループに分かれて自己紹介と日頃の取り組みについて情報交換するなど、地域の人材育成や観光振興など活発な意見交換ができた。その他、全国・西日本地区で開催されたセミナーや合同懇談会、代表幹事会、日本海沿岸サミット、円卓会議などの会議にも出席した。

詳細については各地区の総会でも事業報告がされているが、主な内容については次のとおりである。

- 1 監査会（4/25）
令和4年度会計監査
- 2 県幹事会・定時総会同時開催（6/8）
 - ・令和4年度事業報告、決算について
 - ・令和5年度事業計画、予算案について
 - ・役員改選について
 - ・細則変更について
- 3 正副代表幹事会（2/27 オンライン）
 - ・令和6年度定時総会開催について
 - ・創立60周年記念事業について
 - ・県同友会に対する負担金について
 - ・定款変更について
 - ・全国会議日程・合同懇談会等開催予定について
- 4 例会・委員会・幹事会等（定時総会は各地区とも開催した）
 <東部地区>
 - ・定時総会 1回、正副代表幹事・総務委員長（毎月開催）、総務委員会 毎月開催、
例会 10回、学校編成・観光戦略特別委員会 5回、各委員会 15回
 - ・各種会議・関係会議多数出席
 - *例会（講演）のテーマ
 - ・視察 智頭地域循環共生圏づくりに挑戦する
智頭町の女性経営者4人を訪ねて（智頭町やどり木協議会）（4月）
 - ・「地方創生 ～鳥取から日本を変える～」（7月）
 - ・「移住・定住の取組み」（8月）
 - ・「鳥取県立高等学校教育の在り方に関する基本方針（案）概要説明」（9月）
 - ・「神戸経済同友会但馬部会との合同懇談会」（10月）
 - ・「鳥取の<因幡のシロウサギ神話>
～海の神話と山の神話 もうひとつの白兔神話を追って～」（11月）
 - ・「学校適正配置・適正規模」について（12月）
 - ・「鳥取県から新たな時代へ」（1月新年例会）
 - ・「訪日インバウンドの現状と機構の取組みについて」（2月）
 - ・「鳥取中心市街地活性化ー2核の文化観光拠点ー」（3月）
 - *各委員会の活動
 - ・活動方針に基づきキーワードに沿って研究議論、担当例会の打合せ

<中部地区>

・定時総会 1回、幹事会 11回、例会 9回（原則毎月第3金曜日）委員会 1回

*例会テーマ

- ・「対話型 AI による DX 推進サポート」（4月）
- ・「バルコスの取り組みについて」（7月）
- ・「今秋開設するバーチャル倉吉について」（8月）
- ・「今後の市政について」（9月）
- ・「中部地区高等学校の現状と地域の課題について」（10月）
- ・「㈱ゲットスマイルカンパニーの現状と今後の展望」（12月）
- ・「新年例会」（1月）
- ・「きみのお金は誰のため 人の繋がりを見れば経済はやさしく理解できる」（2月）
- ・「日本赤十字社の災害救護」（3月）

<西部地区>

定時総会 1回、幹事会 2回、監査会 1回、懇談会 3回、例会 10回、
総務委員会 9回、総務委員会正副委員長会議 9回、
委員会・特別委員会 26回、視察会・研修会 7回、
その他出席諸会議（協賛、後援含む）等 25回

*例会（講演）内容（テーマ）

- ・「サウナで鳥取県を元気に」（10月）
- ・「熱波をあなたに」（10月）
- ・「鳥取県のサウナ振興について」（10月）
- ・「MaaS の進化による山陰観光振興への貢献」（11月）
- ・「社会人入社 5 年目までに必要なことは、みんな学校で教わった」（12月）
- ・「扉をあけて未知の世界へ」（12月）
- ・「大阪・関西万博の最新動向と万博を契機とした観光推進について」（1月）
- ・「鳥取県から新たな時代へ」（1月）
- ・「バリュー投資と日本企業の復活について」（1月）
- ・「鳥取県江府町における持続可能性をテーマにしたフィールドワーク報告（1月）」
- ・「ガイナール鳥取とふるさと教育
～スポーツ社会学の視点で時代の変化を探る～」（2月）
- ・「弓浜半島物語とふるさと教育」（2月）
- ・「ガイナール鳥取と弓浜半島とふるさと教育」（2月）
- ・「歴史を学び、現在、そして未来へ!!」（5つの提言）」（2月）
- ・「中小企業から中堅企業に必要な組織・人事戦略」（3月）

5 全国の経済同友会との交流

・第35全国経済同友会セミナー（R5.4.13 長崎市）

【テーマ】 経済人として安全保障にどう向き合うか ～日本の針路を考える～

- ・第9回西日本経済同友会代表者会議 (R5.7.25 米子市)
 - 討議①【テーマ】「地域のインバウンド観光振興策」
 - 問題提起：「関西学院大学渥美ゼミとの山陰地方における
インバウンド観光振興の取り組み」
 - 提起者：鳥取県経済同友会 松村顧問
 - 討議②【テーマ】「各地経済同友会における人づくりの取り組み」
 - 問題提起①：「読本『Roots 弓浜半島物語』を通じた
ふるさと教育の取り組み」
 - 提起者：鳥取県経済同友会 松村顧問
 - 問題提起②：「地域特性を活かしたリスキリングについて」
 - 提起者：滋賀経済同友会 櫻田代表幹事
 - 問題提起③：「SDGsの取り組みを通じた高校と企業の連携と事例の紹介
～岡山経済同友会の取り組み～」
 - 提起者：岡山経済同友会 梶谷代表幹事
- ・2023年全国経済同友会事務局長会議 (R5.9.7～8 高知市)
- ・第14回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット (R5.9.21～22 金沢市)
- ・西日本経済同友会代表幹事会 (R5.11.2 徳島市)
- ・第120回西日本経済同友会会員合同懇談会 (R5.11.2～3 徳島市)
- ・2023年全国経済同友会代表幹事円卓会議 (R5.11.6 奈良市)
- ・第50回鳥取県・島根経済同友会合同懇談会 (R5.11.14 松江市)
- ・第30回鳥取県・岡山経済同友会合同懇談会 (R5.11.20 備前市)
- ・西日本経済同友会事務局長会議 (R6.3.5 オンライン)

6 その他の会議への参加、出席等

- ・(公社)とっとり被害者支援センター理事会・総会
- ・連合鳥取との意見交換会
- ・鳥取県産業教育振興会理事会
- ・鳥取県サイバーセキュリティー対策ネットワーク総会
- ・(一社)中国経済連合会 鳥取・島根地区会員懇談会
- ・中国横断新幹線整備推進会議総会
- ・米子空港利用促進懇話会総会
- ・ふるさとフォーラム IN 米子
- ・米子中金会・米子中金ユース会・鳥取県中小企業団体中央会総会・講演会
など

*令和5年度版写真入会員名簿の作成

*機関紙「経済同友」を全員に配布(10月号迄)

*その他経済同友会の関連の団体組織が主催する会議への出席参加等